

F-REI 市町村座談会（南相馬市）

進出企業・地元企業との意見交換議事要旨

1. 日 時 令和5年7月5日(水) 15:15～16:05

2. 場 所 南相馬市産業創造センター2F会議室

3. 主な発言内容

- 飛行艇型ドローンの開発を行っている。開発にあたり、南相馬市内の多数の企業と連携している。
- ロケットの開発に取り組んでいる会社で、2021年に実証研究開発拠点として南相馬市に進出した。このエリアは、航空宇宙関係企業が根付いている。
- サイボーグ技術で身体的物理的制約を解消することを中長期的に目指している。生体信号を読み取る技術、読み取った生体信号で自分の代わりとなる身体を動かす遠隔操作ロボットの開発を行っている。
- 遠隔操作ロボットが社会に浸透しないのは、遠隔で手作業をすることが難しいからと考える。ロボットハンドと自分の手のように動かすインターフェース（コントローラー）の一体の開発が必要。
- ロボットテストフィールドで市民向けの見学会を行ったときに、ロボットアームの実験とアンケート調査を行ったが、この南相馬市は老若男女が興味を持って参加してくれるのがよい。
- 地元企業と厚い連携が取れている。
- F-REI とどのような協力ができるか掴めていない企業が多い。イノベーションコースト構想がスタートして、時間がかかったがやっと行政がどんなことをやってくれるか分かり、民間がタッグを組む取組がスタートしたところ。F-REI とは、情報交換を密にして、一緒にやらせていただきたい。

- F-REI とどのようなことができるかわかっていないが、弊社は航空宇宙部品の加工を行っている耐熱合金を主に取り扱っている。こういう加工技術でお手伝いしたい。
- 弊社は、一点ものの加工を得意としている。研究等の施策で1個だけ必要となった時等、材質を問わず加工することができるので、F-REI と密に情報交換しながら連携できればと考えている。
- この地域は、震災でイノベーションが起こっている。無理難題にもチャレンジしていくので、協力させていただきたい。